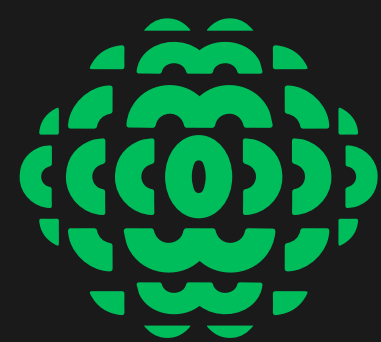


啓発活動のためのガイド



世界脳性まひの日
10月6日

サポートが必要な方向けの連絡先:

contact@worldcpday.org

フォローしてください

@worldcpday



目次

基本事項	03
啓発活動が重要な理由	04
あなたにできること	05
脳性まひ(CP)のファクトシート	10
どこから始めるか?/誰に話せるか?	13

基本事項

自分の声で届けよう

脳性まひのある人々は助けられるのを待つ存在ではありません、意見も声もあります。

エンパワーメント>インスピレーション

脳性まひという特性に誇りがあり、憐れまれる必要はありません。

まずは第一歩を踏み出そう

誰もが自分なりの方法で参加できます。

対立ではなく、つながりを

無知を責めるのではなく、広い心で私たちの現実を伝えていきましょう。



啓発活動が重要な理由

気づきを広げることは重要です。それは、どんな小さなものであっても、変化を起こすための第一歩だからです。課題や共通の問題について理解が深まれば、より適切に対処できるようになります。

ここで啓発活動の出番となり、啓発活動の重要性が明らかとなります。啓発活動は、行動へとつなげるための重要な次のステップです。行動を起こそうとすると、何が可能かが見えてきます。そして、ストーリーや未来を自らの手で形づくる力があることに気付くでしょう。一人ひとりが行動を起こすことで、共通の目標に向かって力を合わせたときに私たちが成し遂げられることを世界に示すことができます。

**KATY GAASTRA, CEREBRAL PALSY
STRONGの創設者**

[@cerebralpalsyststrong](https://www.instagram.com/cerebralpalsyststrong)

啓発活動は、私たちが大切にしていることを世界中に伝えることができます。啓発活動は、違いをもたらします。啓発活動は、目に見える変化の実現に向けて勢いをつけます。

障害のある人々にとってより良い世界をつくるために、1つのストーリー、1つの対話、そして1つのつながりによって、CPコミュニティの仲間、そして自分自身の代弁者として、自分にできるすべてのことを行う力があります。

ですから、この世界脳性まひの日には、共に啓発活動に力を注ぎ、自身とコミュニティのために行動することを選び、その努力をより意義あるものにしましょう。





小さな一歩から始めましょう。 これができたら、もう一歩進みましょう。

どんな小さなものであったとしても、一つひとつの行動が、
脳性まひのある人々が価値ある存在として扱われ、認められ、受け入れられる世界をつくることにつながります。

今年は、気づきを行動につなげましょう。
方法は、あなた次第です。

あなたのストーリーをシェアしよう

今、5分ありますか？スマホは手元にありますか？さあ、始めましょう。

- ✓ あなた自身の言葉をSNSに投稿しましょう
- ✓ テンプレートを使って、あなたが大切だと思う理由を写真やストーリーで送ってください
- ✓ 脳性まひサポーター用のフレームを選んで写真をアップロードしてください
- ✓ WhatsApp/Line の家族グループに音声メッセージを送りましょう
- ✓ 投稿には「#WorldCPDay」をつけてください

“

CPコミュニティのメンバーであることに誇りがあります。CPコミュニティの価値観を理解し、言葉に耳を傾け、障壁を撤廃する世界を実現しましょう。
💚 #WorldCPDay

”

投稿プロンプト案

対話を始めましょう

周りの人も巻き込みましょう。啓発活動は質問から始まります。

- ✓ 「ストーリーの伝え方」ガイドをご活用ください
- ✓ 所属しているグループであなたのストーリーを語りましょう
- ✓ 脳性まひがある誰かの動画や言葉をシェアしてください
- ✓ 脳性まひとともに歩む人生について、出会う人すべてと語りましょう
- ✓ ご友人に「脳性まひについて何を知ってる?」と聞いてみましょう

“

脳性まひのある暮らしがいかにかに
独特なものか、聞いてみたい?

”

対話の始め方の例

変化をもたらそう

団結して、声を上げることで、あなたの言葉を届けよう。

- ✓ 地域のリーダーにメールを送りましょう(テンプレートがあります)
- ✓ 地域の問題に関する要請書への署名を集めましょう
- ✓ 意思決定者と話すためのグループを作りましょう
- ✓ 地域の新聞やコミュニティであなたのストーリーを広めましょう
- ✓ 地域の他の啓発団体に協力しましょう

“

私たちは、脳性まひのある子どもたちの公立学校へのアクセス改善を、[省庁／市長など]に求めます。受け入れられることは権利であり、選択ではありません。

”

要請例

ヒント

始めるのに許可は要りません。

始め方は人それぞれです。知人に話すことから始めることも、オンラインやより公の場所で発信することもできます。

全員の声を代弁する必要はありません。あなた自身の真実を語ってください。

CPコミュニティには、世界で推計約5,000万人の仲間がいます。
あなたの言葉は、コミュニティの力となります。

脳性まひに関する重要な事実と統計情報

CPとは？

- 脳性まひ（CP）は、世界で最も一般的な、生涯にわたる身体障がいです。*出典: [PETERSON 2024](#)
- 脳性まひは、妊娠中、出産前後、または生後2年以内に脳が損傷を受けることで生じます。
- 脳性まひは主に、動作、姿勢、協調運動に影響しますが、てんかん、さまざまな行動障がい、知的障がいといった二次的な症状を伴うこともあります。また、脳性まひのある人々は、コミュニケーション、食事、視覚、聴覚に困難を抱える場合もあります。
*出典: [ROSENBAUM, 2007](#)
- 脳性まひの影響は人によって異なり、それぞれのニーズに合わせた継続的な医療およびリハビリ支援が必要です。



脳性まひに関する重要な事実と統計情報

脳性まひの世界的な現状

- **有病率:** 世界には推計5,000万人※の脳性まひのある人々が暮らしており、さらに推計3億5,000万人の親、介助者、家族が直接的に影響を受けています。
*出典: [CIEZA 2021](#)
- **有病率の変化:** 低・中所得国 (LMICs) では小児死亡率の低下に伴い、脳性まひを含む障がいのある子どもの数が増加し、保健、教育、社会的支援システムへの負担が高まっています。*出典: [SUMON 2024](#)
- **サービスへのアクセス:** 多くの低所得国では、脳性まひのある子どもの80%以上が、リハビリや介入をまったく受けていません。これは、何百万人もの子どもから動くこと、学ぶこと、成長することの機会を奪う深刻な世界的課題です。*出典: [AL IMAM 2021](#), [JAHAN 2021](#)
- **教育からの排除:** 多くの低所得国では、脳性まひのある子どもの3分の2以上が、通常学級で学ぶことができないなど、あらゆる形での正式な教育を受けることができずにいます。*出典: [JAHAN 2021](#)

脳性まひに関する重要な事実と統計情報

脳性まひの世界的な現状

- **ジェンダーの公平性と母子保健**

- 障がいのある子どものケアは家族、特に母親に大きな負担を与え、健康状態の悪化、所得の低下、就労参加の減少を招いています。*出典: [TONMUKAYAKUL 2018](#)
- 母親:母体の健康と周産期ケアを改善することで、脳性まひの一部は予防可能であるにもかかわらず、いまなお何百万人もの女性が必要なサービスにアクセスできずにいます。*出典: [BADAWI 2020](#)

- **介入の遅れ:** 資源の限られた環境では、脳性まひのある子どもがリハビリを受けることができて、開始年齢が推奨より大幅に遅れており、転帰や生活の質を損なっています。

- **機会の逸失:** 転帰を改善する明確な証拠があったとしても、脳性まひのある子どもが受けられる、リハビリ、教育、インクルージョンといった最も基本的なサービスの可用性には地域ごとにばらつきがあります。

- **死亡率:** 世界の5歳未満死亡率は4%未満に低下した一方で、重度の脳性まひのある子どもは最大5倍のリスクに直面しています。また、栄養不良や感染症など予防可能な原因で亡くなることが少なくありません。

*出典: [UNICEF 2023](#); [BLAIR ET AL., 2019](#); [GLM-CPR](#)

誰に話せるか？

身近なところからあなたの声を届けましょう。

大きな舞台は必要ありません。一人ひとりの行動が大きな変化をもたらします。

啓発活動は、知人への1つの対話から始まります。

それは、あなたの影響が及ぶ範囲で発揮されるパワーです。



ウガンダ



ポーランド



インド



バングラデシュ



セントルシア



ドミニカ共和国



ベトナム



ネパール

影響が及ぶ範囲とは？

それは今、あなたが話し、つながり、影響を及ぼすすべての人を指します。例：



家族



友人やコミュニティ



教師または同僚



担当の医療従事者



地域のリーダーや
学校の職員



オンラインであなたを
フォローする人々

誰に伝えられるかリストしよう

このシンプルなアクティビティで誰に影響を及ぼせるかを考えてみましょう

所属するグループ	その誰を知っていますか？	彼らに何を語り、伝えることができるでしょうか？
家族	[例：おば、兄弟]	動画をシェアし、対話を始め、ストーリーを語りましょう
友人	[例：学校のグループ、WhatsAppやLine のグループ]	写真を投稿し、脳性まひに関する対話を始めましょう
医療機関/学校/ 職場	[例：理学療法士、教師、上司]	世界脳性まひの日への参加を呼びかけ、 資料をシェアしてください
コミュニティ	[例：教会のグループ、身体障害者団体、青年団]	支援または対話の場を設けるよう促しましょう
オンライン	[例：Facebookの友達、フォロワー]	あなた自身の言葉を投稿する際には「#UniquelyCP」 を使ってください

どのように影響を及ぼすことができるでしょうか？



対話



SNS上でのシェア



招待



教育



行動への呼びかけ

影響の種類

例

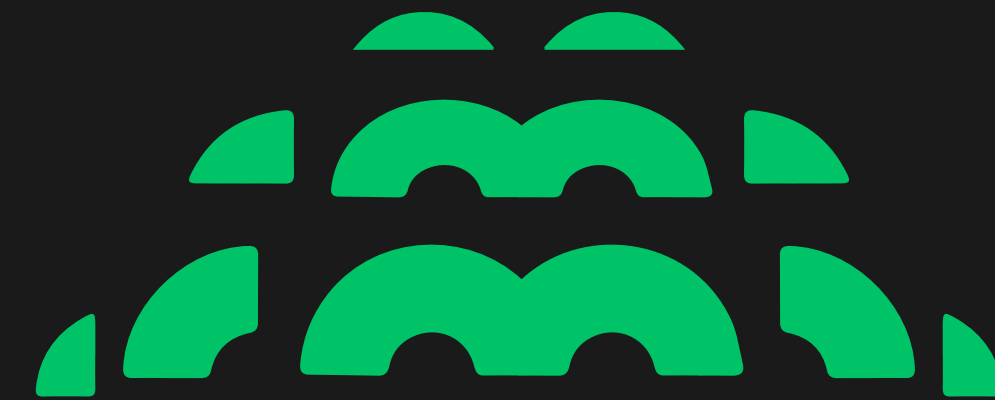
「脳性まひが自分にとってどんな意味があるかを伝えても良い？」と尋ねる

ストーリーや写真、引用を投稿またはダイレクトメールする

啓発活動の支援やリポスト、グループへの参加を呼びかける

動画やポッドキャスト、CPファクトシートをシェアする

リーダーへの連絡、請願書への署名、イベントへの参加を誰かに呼びかける



世界脳性まひの日



10月6日

サポートが必要な方向けの連絡先：

contact@worldcpday.org

ソーシャルタグ

@worldcpday

